

令和5年度主要事業の成果

支出科目	款：総務費 項：総務管理費 目：国際交流費
担当課	平和推進プロジェクト・チーム
事業名	G7各国における若者による対話イベント実施事業（単県）【新規】

目的

G7広島サミットの成果を受け、若者をG7各国に派遣し、現地の若者と議論・交流する場を提供することにより、広島への関心を更に高めつつ、地球規模の課題解決に向けた機運向上を図る。

事業説明

対象者

日本及びG7各国の若者

事業内容

(単位：千円)

内 容		当初予算額	最終予算額 ※	予算執行額 [繰越額]
G7各国における若者による対話イベントの実施	若者をG7サミット参加国に派遣し、現地の若者と議論・交流する場を提供	—	49,909	49,908 [—]
合 計		—	49,909	49,908 [—]

※令和5年度9月補正予算

令和5年度の成果目標と実績

- 事業目標：G7各国の若者による議論を通じた国際感覚を有する次世代人材の育成及びG7各国における地球規模の課題解決に向けた機運向上
- 実 績：G7広島サミット レガシー・プロジェクト「若者たちのピース・キャラバン」を実施し、3つ（イギリス・フランス/アメリカ・カナダ/ドイツ・イタリア）のコースに、広島を中心とした日本の若者15名（各コース5名）が参加した。

令和5年度の目標と実績の乖離要因・課題

- 現地の若者との対話イベントやパネル展等を通じて、日本の若者の国際感覚やチャレンジ精神を涵養することができた。
- 現地では、サミットや被爆の実相を紹介するパネル展を開催したところ、1,200名以上の来場者があり、サミットの成果を改めて各国の人々に想起させることができた。
- サミットや対話イベントの成果を維持し、若者同士のつながりが継続できるよう、引き続き取り組んでいく必要がある。

令和6年度の取組方向

- 広島-ICANアカデミー等にG7参加者枠を設けてG7各国の若者を招聘して実施するなど、「国際平和拠点ひろしま構想推進事業」において、サミットの成果を継続する取組を実施する。